本気を引き出し、一歩先を目指す力を

さらなる大学改革を推進

新学部長を迎えて教育のサポート体制に新たな一歩

本学はこれまでも「和を以て貴しと為す」という建学の精神のもと、教育目的を「ゼロから立ち上げる」興動人（こうどうじん）の育成として掲げ、実学重視の教育を進めてきた。そして今春、小谷幸生教授を新たに経済学部長に迎えた。新体制で本学が進めるこれからの大学教育及びサポート体制について、前川功一学長、石田優子副学長、小谷幸生学部長に聞いた。

左から前川学長、小谷学部長、石田副学長

教育の質を高める大学改革

平成25年度から、さらなる改革に着手されるそうですが、具体的にどのような改革ですか？

前川　近年、日本の大学の多くは少子化の影響を受け、学生数が減少傾向にあります。本学もその影響を大きく受けておりますが、こうした状況のなかでも、一定水準以上の学力を保ちつつ、学習意欲の高い学生が、より成長できる充実した環境を構築していかなくてはなりません。本学は昨年度末に、定員確保より、教育の質の保障を優先する方向に、大きく舵をきりました。それが今回の改革です。

大学改革の柱のひとつは「より基礎学力を備えた興動人の育成」です。その大きな一歩として、平成25年度一般入学試験とセンター入学試験の合格最低点のボーダーラインを、一定水準以上の学力とより高い学習意欲を備えた受験生を入学者として迎えたいという考えから大幅に引き上げました。それに見合ったカリキュラム改革も行います。

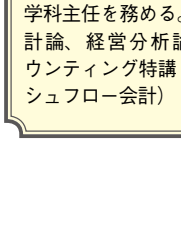
前川 功一 学長

石田　一方で、平成25年度一般入学試験と入試センター入学試験の受験者を対象に、成績上位者には授業料を免除する奨学金制度も導入しました。優秀な学生の金銭的な負担を抑え、学業に専念できるよう大学としても全力でサポートしていきます。

そして、教育体制のさらなる向上にも取り組んでいます。本学では以前から日本語文章能力の育成に力を入れており、今年度から「日本語文章表現」科目を必修のうえ、本学の定期試験で一定基準を満たし、財団法人日本漢字能力検定協会が実施する文章読解・作成能力3級を取得することを単位修得の条件としました。資格を取得することで、確かな日本語表現能力が身に付き、文章作成にも自信がつくでしょう。

また、英語では、英検やTOEICなどの資格取得を目指す授業に特別クラスを設けるなど、より上を目指す学生を支援するしくみを検討しています。

小谷　学生のニーズが大きい日商簿記検定試験2級の資格取得を目指す新科目を設置します。そして、日商簿記検定試験2級または全商簿記検定試験1級をすでに取得し入学した学生には、通常3年次で受講する科目を1年次から履修可能としました。このことで、より高度な簿記教育を入学時から受ける機会が開け、最終的には日商簿記検定試験1級や税理士受験科目（簿記論・財務諸表論）の取得を目指すことができます。



小谷 幸生 学部長

女子学生が今後の社会を元気に

そのほか、ユニークな改革はありますか？

前川　意欲の高い学生に対してはもちろん、授業に不安のある学生に対しても、教員による個別サポートを受けることができる自主学習スペースを整えています。このスペースは以前からあったのですが、今春、場所を移転し、さらに明るく利用しやすいよう環境を一新しました。

石田 優子 副学長

石田　女子学生に対する支援体制を充実させたいと考えています。具体的には、4月に女子学生対象の「ウェルカムパーティー」を開催し、新入生同士および先輩学生との交流をはかるほか、社会で活躍している卒業生にも協力を仰ぎ、女性としての生き方、働き方を考える機会を設けるなど、女子学生に特化したキャリア形成プランを充実させていく予定です。

サポート体制強化

サポート体制にも力を入れられているそうですね。

石田「全学生に向けた学生生活のサポート体制の強化」ももう一つの柱に掲げています。その特徴的なものが本学独自で運用している「夢チャレンジシート」です。これは、学生が教員との面談を通して、自分自身を見つめ直しながら描き出した今後の夢や目標に対し、それを実現する道筋を教員と共に考え、彼らの「人間力」向上に資することを目的としたものです。学生は、このシートの活用を通して、4年間一貫した指導を受けることができ、自己理解を深めるとともに、研究課題や就職に向けて具体的な目標設定が可能になります。さらには、人生の先輩たるゼミ教員との絆も深まり、自立性と責任感の涵養（かんよう）にも役立つことが期待されます。

前川　卒業論文作成や就職活動などでも、学生は教員や職員と面談する機会がたくさんあります。「Be Student-oriented―すべては学生のために」という行動指針のもと、学生と本気で向き合おうとする力強い教職員の支援体制が、本学の特徴といえるでしょう。

大学としての使命

広島経済大学は今後、どのような役割を果たしていくべきだとお考えですか？

小谷　こうしたさまざまな取り組みを通じて学識と行動力を備えた興動人を育成し、経済の活性化に貢献できる人材を今後も輩出していくことが本学の大きな使命のひとつだと考えています。

石田　興動館プロジェクトをはじめ、学生の活動は地元の方々にも高い評価をいただいています。今後も、社会での実践的な取り組みを通じて自信をつけ、社会へ羽ばたく力を蓄えてほしいですね。

前川　学生のために常に一歩先を見据えつつ教職員が一丸となって大学改革を進めていきます。広島経済大学はたゆまず進化を続ける大学です。ご期待ください。

学びの環境がますます快適に

リニューアル移転した教育・学習支援センターの学習スペース

学生のために、より快適な学びの環境を整える様々な改修工事が着々と進んでいる。これまで1号館と3号館の2か所に分かれて設置していた教育・学習支援センターは、教育研究ゾーンのほぼ中心に位置する2号館3階にリニューアル移転。センター室内には学習スペースや学習相談スペースを広く設置し、さらに勉強に打ち込みやすい環境とした。

また、学生会館1階の内装や学内のトイレを大幅に改修。6号館3階にはパウダールームが設置されるなど、これまでの雰囲気とは変わって、より美しく清潔感のある環境に改善した。

今後も女子ラウンジの設置を検討するなど、さらに学生にとってより快適な学びの環境を整えていく。

経済学部長に小谷幸生教授が就任

小谷（おだに） 幸生（ゆきお） 学部長

（就任挨拶）

この度、安藤幹夫先生の後を受け、経済学部長に就任するにあたり、一言ご挨拶を述べさせていただきます。

安藤先生は就任以来、人間力を養成する「興動館教育プログラム」や人間的成長をサポートする「夢チャレンジシート」を軌道に乗せ、学生本位の教育を志向する本学の基盤強化に尽力されました。その功績に心から敬意を表します。

さて本学は、平成11年から本格的な教育改革に着手し、社会のニーズに応えた様々な施策を実施してまいりました。こうした改革が受け入れられ、全国の大学では定員割れが珍しくないなかで、本学は定員を上回る学生を毎年迎え入れてきました。一方、この間にも少子化が進むなか、保護者の方々からは大切なお子様に対して一層きめ細やかな教育を求める声が大きくなっています。本学はかねてより「面倒見のよい大学」として定評のあるところですが、こうした期待の高まりを受けて、今年度は敢えて入学者数を絞り込み、これまで以上に学生一人ひとりに行き届いた教育を行い、基礎学力をしっかりと身に付けさせるという方針を打ち出しました。このため初めて入学定員を下回りますが、よりよい教育を目指してチャレンジを続けることが大学の使命であり、また中長期的には本方針が社会に受け入れられるとの信念によるものです。

このような転換期に学部長という重責を担うことになり、身の引き締まる思いです。私に課せられた責務は、新たな方針に沿って、具体的な施策を速やかに実行に移し、教育効果の早期発現を図ることにあると思います。本学での8年間の教育経験に加え31年間の実業界経験を活かしながら、スピード感のある大学運営に貢献すべく全力を傾注する覚悟です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

（略　歴）

昭和49年東京大学卒業後、株式会社三菱銀行（現三菱東京UFJ銀行）に就職。調査業務（企業・業界調査）、証券業務、国際業務等に従事し、この間に米国シカゴ大学経営大学院にてMBA取得。その後、同行投資銀行業務の事務システム部門の運営に携わる。平成17年4月、本学に教授として就任。平成23年より経営学科主任を務める。管理会計論、経営分析論、アカウンティング特講（キャッシュフロー会計）

広島経済大学広報

発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号731-0192
電話番号（082）871-1000㈹
ホームページhttp://www.hue.ac.jp/

1面　大学改革を推進／新学部長に小谷教授就任
2面　スポーツイベント体験からの学び／大学生POP企画
3面　オキナワを歩く45キロ／学生リーダーシップカンファレンス
4面　平成24年度学位記授与式挙行／サークルニュース
5面　就職活動体験記・平成24年度主な就職先一覧
6面　平成25年度入学試験結果／お知らせ

スポーツイベント体験から学んだ一年

スポーツ経営学科

広島こども夢スポーツの様子

平成23年4月に開設したスポーツ経営学科は、平成24年度に学内外で実施するスポーツイベントに多くの学生が参加し、実体験をもってスポーツに携わるビジネスについて学んだ。ここでは、その主だった取り組みを振り返る。

FIFA U-20女子ワールドカップ

8月20日、広島広域公園第二球技場において「FIFA U-20女子ワールドカップジャパン2012」が開催された。スポーツ経営学科の学生は試合開始前セレモニーにおいてその運営補助を担当し、大会運営を支えた。

広島こども夢スポーツ

9月17日に開催された広島こども夢スポーツ「為末大さんといっしょに走ろう」親子ランニング教室が広島広域公園広島ビッグアーチにおいて開催された。本学スポーツ経営学科から1年次生4名がイベント運営のスタッフとして参加した。400メートルハードルでオリンピックに3大会連続出場した為末大さん、マラソンで北京オリンピックに出場した、本学陸上競技部尾方剛監督、200メートルでアテネオリンピックに出場した本学スポーツ経営学科松田亮助手が講師として参加し、多くの親子がスポーツを楽しんだ。イベント開催までに学生たちは為末さんや運営スタッフと何度もミーティングを重ね、実施プログラムを計画するなど貴重な経験を得ることができたようだ。

スタジアム建設意見討論会の様子

国際スポーツサロン

12月7日、広島国際会議場において第1回「国際スポーツサロン」を実施した。オリンピックやワールドカップなど、国際的に活躍するスポーツ関係者から話を聞くことができる、地域に開かれた講演会として、スポーツ経営学科の濱口博行教授の考案により実現した。第1回は、国際陸上競技連盟事務総長を務めるエッサー・ガブリエル氏を迎えた。この講演会の主な運営を学生スタッフが担当し、また、国際的なゲストを迎えてのイベントに緊張感をもちながらも堂々とした司会ぶりを見せた。

スタジアム建設意見討論会

興動館プロジェクトの一つ「プロスポーツによる地域活性化プロジェクト」が主催する「サッカースタジアム建設意見討論会」を実施した。第1回は、11月3日に開催した経大祭の一環として実施し、第2回は、2月11日にイオンモール広島祇園において実施した。スタジアム建設によって市民が受けるメリットなどをスポーツ経営学科の教員と同学科2年生がパネリストとして発表した。スタジアム建設と地域経済の活性化を考えるこの取り組みは、まさに本学科での学びを活かせる代表例と言えるだろう。

実践的な学び他にも多数

この他、9月16日に「マツダスタジアム来場者調査」を実施。プロ野球観戦に訪れた来場者にアンケートへの協力を呼びかけた。同月開催の「安芸太田しわいマラソン」でも学生が参加者ランナーの意識調査を実施した。10月27、28日開催の「日本生涯スポーツ学会第14回大会」では本学科の教員4名が実行委員となり、学生も多数スタッフとして運営に関わった。12月開催の中学生対象「広経大カップ」においては、学生が主体となり大会運営を行った。また、2月20日から1週間、14名の学生がアリゾナ州フェニックス近郊で最先端のスポーツビジネスを視察した。5日目にはグッドイヤースタジアムで球場スタッフとして英語で観客を迎えるという貴重な経験をした。

さらに、3月の春休み中には、本学のグランドで実施される英国の名門サッカークラブ、マンチェスターユナイテッドのサッカースクールにサポートスタッフとして関わるなど、今後も続々とスポーツに関しての企画を展開する。

大学生POP企画「あなたへ」

メディアビジネス学科 長谷川ゼミ

紀伊國屋書店においてPOP展示をする学生たち

2月13日から3月12日、紀伊國屋書店広島店アクアセンター街6階（広島市中区基町）において、長谷川ゼミが「大学生POP企画『あなたへ』」を開催した。出版不況が叫ばれるなか、書店にもっと多くの人に足を運んでもらうためにはどうすればいいかを考えるのが長谷川ゼミのテーマだ。13名のゼミ生たちは書店に並ぶPOPにコミュニケーションツールの可能性を見出した。『○○なあなたへ』と、特定の対象者に呼びかけることで、本を通したコミュニケーションを創出し、書店に足を運ばなければ得られない楽しみを提供することが目的だ。

企画の代表を務める深見彩さん（メディアビジネス学科3年・広島県／舟入高校出身）は、「選書はとても大変でしたが、みんなの『感動を伝えたい』という思いが大きなやりがいにつながりました。勧めたい本、売れる見込みのある本、ジャンルが偏らないように、など、さまざまな基準で130冊を厳選しました。大手書店を巻き込んだ企画に、責任感と充実感を感じました」と語った。書店員からは「プロ顔負けのPOPの数々に驚きました」「陳列にも工夫があって素晴らしい」と好評だった。来店者が棚の前で足を止めて熱心にPOPを眺める姿も多く見られた。

あさみなみまちづくりアイディアコンテスト

本学学生 優勝・準優勝

優勝、準優勝を受賞した本学学生たち

平成24年11月25日、「第3回あさみなみまちづくりアイデアコンテスト」において本学の学生が1位と2位を受賞した。このコンテストは、安佐南区役所と5大学2短期大学が連携して地域活性化のアイデアを競う。

1位を受賞したのは、永田靖ゼミの「サンフレッチェDE〝友コン〟」。永田靖ゼミ代表の藤谷貴文さん（スポーツ経営学科3年・広島県／可部高校出身）と藤山聖也さん（スポーツ経営学科3年・広島県／高陽高校出身）は、「大学生を対象としてサッカー観戦と区内の飲食店での食事をセット価格で提供し、地元経済を盛り上げながら友達の輪を広げる企画を考えました。今シーズン中にぜひ開催したいです」と意欲を語った。

2位を受賞したのはメディアビジネス学科3年生7名で結成したチーム〝レジスタ〟の「ネットTVあさみなみ」だ。インターネットの動画中継サイトを利用し、地域の情報を配信する。メンバーの坂西浩人さん（メディアビジネス学科4年・熊本県／文徳高校出身）は「コンテスト当日は、市議会議員の仕事や区内の隠れた名店などをテーマにした番組を放映しました。区民にとって価値のある情報を重視したことが評価されたのだと思います」と語った。

学生のユニークなアイデアに今後も注目したい。

社会人の「学びたい」に応える
「キャリアアッププログラム」「カルチャー講座」

●キャリアアッププログラム
入門・基礎・応用の3つのプログラムで知識とスキルの向上をめざします。
hue cp top　検索

●カルチャー講座
地域に根差した大学から教養・知識を発信します。
hue カルチャー　検索

お問い合わせ・お申し込み
広島経済大学
教育・学習支援センター 教育支援課
〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号
TEL：082-871-9345（直通） FAX：082-871-1021

平成25年度（前期）
広島経済大学 特別客員教授による教養特別講義日程

講義統一テーマ「‘主体的に生きるために’」

学生に実社会を学んでもらうとともに、開かれた大学づくりの一環として開講している「教養特別講義」は、一般の方々にも公開しています（定員250名）。企業のトップをはじめ、文化・芸能分野などで活躍されている方々に各専門分野について講義していただきます。
※一般聴講の前期受付は終了しました。

第1回 平成25年4月18日

株式会社 富士通総研 経済研究所 主席研究員
柯 隆（カ リュウ）氏
習近平新政権下の中国経済

第2回 平成25年4月25日

広島県庁 健康福祉局 広島県健康福祉局長
佐々木 昌弘（ササキ マサヒロ）氏
広島の「生きる」を支える体制

第3回 平成25年5月2日

NHK解説委員
安達 宜正（アダチ ヨシマサ）氏
「若い世代は政治とどう向き合うか」

第4回 平成25年5月9日

前 株式会社三菱総合研究所 主席研究員、同志社大学大学院ビジネス研究科 教授
浜 矩子（ハマ ノリコ）氏
「グローバル経済と日本の真像 たそがれの向こう側」

第5回 平成25年5月16日

デリカウイング 株式会社 代表取締役会長
細川 匡（ホソカワ タダン）氏
未熟者の体験に学ぶ、「考えるヒント」。

第6回 平成25年5月23日

帝京大学 教授、工学博士
志方 俊之（シカタ トシユキ）氏
大丈夫か、わが国の危機管理体制

第7回 平成25年5月30日

日本銀行 広島支店 支店長
水口 毅（ミズグチ タケシ）氏
景気と金融政策

第8回 平成25年6月6日

独立行政法人国際協力機構（JICA）中国国際センター所長
西宮 宜昭（ニシミヤ ノリアキ）氏
ODAとインフラ整備（Social Capitalの視点から）

第9回 平成25年6月13日

三島食品株式会社 代表取締役社長
三島 豊（ミシマ ユタカ）氏
三島食品の取り組みについて

第10回 平成25年6月20日

中国新聞社 代表取締役社長
岡谷 義則（オカタニ ヨシノリ）氏
「ヒロシマの先人に学ぶ」

第11回 平成25年6月27日

外務省 国際協力局 国際協力局長
梅田 邦夫（ウメダ クニオ）氏
国際協力／日本の貢献について

第12回 平成25年7月4日

厚生労働省老健局 老人保健課長
迫井 正深（サコイ マサミ）氏
超高齢化社会と日本の医療・介護を考える

第13回 平成25年7月11日

株式会社サザビーズジャパン 代表取締役社長
石坂 泰章（イシザカ ヤスアキ）氏
アートビジネスの世界

第14回 平成25年7月18日

湧永製薬株式会社 取締役副会長
不破 亨（フワ トオル）氏
薬の概論「くすりって○○！」

オキナワを歩く45キロ

沖縄県でも初の「飯あげ」体験

2月24日から3月1日まで、岡本ゼミによる「オキナワを歩く」を実施した。7回目となる今年は約60名の学生が参加した。3日間かけて徒歩で戦跡や慰霊碑を巡り、戦争体験者の証言を聞いた。また今年は、砲撃下で女子学徒隊が担った食料運搬作業「飯あげ」を、体験（沖縄県初）したほか、元女子学徒隊の方々と「戦時中の食」についてシンポジウムも行った。この「飯あげ」体験は沖縄県でも初の試みである。

「飯あげ」を体験する学生たち

2回目の参加となる花田幸司さん（経済学科4年・島根県／邇摩高校出身）は、「慰霊碑巡礼の3日間、食事は栄養補助食品と水のみで過ごしました。強い空腹感に襲われながらも、戦時中のことを思うと、現代の生活がどんなに幸せかを痛感しました。戦争体験者の鮮烈な話を聞き、同じ過ちを繰り返さないために、ここで学んだことを継承していかなければならないと強く思いました」と語った。

戦跡を歩き、戦争体験者から学ぶ貴重な取り組みに今後も注目したい。

学生リーダーシップ・カンファレンス開催

体で体験することで力を合わせることを学ぶ学生たち

2月20日と21日、松山大学（松山市文京町）にて「学生リーダーシップ・カンファレンス～情熱と挑戦　道を切り拓くリーダーシップ～」が開催された。これは、本学のほか8大学、1短期大学が連携する「西日本学生リーダーズ・スクール（UNGL）」（文部科学省平成24年度「大学間連携共同教育推進事業」採択事業）の取り組みのひとつである。本学からは興動館のプロジェクトリーダーや副リーダーら26名が参加した。

リーダーシップ養成に関する各大学の活動報告や3名の講師によるシンポジウム、参加者全員で取り組むワークショップなどを実施。本学の活動報告で発表を担当した向田ゆき菜さん（メディアビジネス学科3年・広島県／広島国際学院高校出身）は、「興動館教育プログラムに多くの方が興味を持ってくださいました。他大学の発表は学ぶことが多く、またワークショップではチームワークの大切さを体感するなどして多くのことを学ぶことができました」と語った。今後も各大学で定期的に研修が開催される予定だ。大学や地域の垣根を越え、互いに高め合える仲間の輪が広がっていく。

広げよう!!平和折り鶴プロジェクト ―― 第15回広島ユネスコ活動奨励賞受賞

受賞を喜ぶメンバーたち

1月19日、広島文化交流会館において、「広げよう!!平和折り鶴プロジェクト」が、第15回広島ユネスコ新春フェスタの「第15回広島ユネスコ活動奨励賞」を受賞した。この賞は、ユネスコ精神の理念に基づき、平和を伝え、広める活動や国際理解などで優れた活動に取り組む団体を顕彰するものだ。

本プロジェクトでは、広島市の若者に身近なところから「平和」について考えてもらうことを目的としている。平成24年8月には「FIFA U-20女子ワールドカップジャパン2012」において、広島の平和記念公園に捧げられる折り鶴の再利用として、若者に呼びかけて作成した折り鶴のレイを参加選手に贈った。また、平和学習に取り組む海外の人々との交流などにも積極的に取り組んでいる。

プロジェクトリーダーの末益英樹さん（国際地域経済学科4年・広島県／高陽高校出身）は、「活動を通してたくさんのことを学ぶことができたうえ、こんな偉大な賞をいただくことができて感激しています。若い世代の人たちがもっと気軽に平和に関する活動に取り組んでもらえるように活動を続けていきます」と語った。今後のさらなる活躍にますます期待が高まっている。

AO入学者対象 入学前セミナー実施

セミナーの様子

2月15日から3日間、本学セミナーハウス成風館（廿日市市宮島町）において平成25年度AO入学者対象入学前セミナーを実施した。平成25年度AO入学者（高校生）6名に加え、平成24年度のAO入学者7名（在学生）も運営スタッフとして参加した。AO入学者は興動館教育プログラムでプロジェクトのリーダーとして活躍を期待される人材だ。こうした「リーダー」としての自覚や主体性を育むことがこのセミナーの目的である。さらに、在学生にとっては、リーダーシップやマネジメントの力を伸ばす入学後プログラムの一環にもなっている。

高校生が発案した宮島散策「みやじまっぷづくり」や、在学生が企画した「ウェルカムパーティ」などのほか、在学生が昨年企画した「シーカヤック」を今年も引き続き実施した。最終日には3日間の学びや気づきを発表し、「主体的に動く」「チャンスを逃さない」など前向きな決意が語られた。AO入学者の今後の活躍に期待したい。

早期合格者の学習サポート 入学前学習プログラム実施

テストを受ける入学予定者たち

本学では、AO・各種推薦入試に合格した入学予定者を対象に入学前学習プログラムを実施している。本学で模擬授業などを行う入学前スクーリングと、インターネットを利用して自宅学習に取り組むe-ラーニングの二本柱で、入学前に大学生活への疑問や不安を解消してもらうとともに、大学で学ぶための学習サポートが目的だ。昨年12月16日と今年3月13日に実施した入学前スクーリングでは、大学生活について学生に話を聞く機会も設け、入学予定者からは「入学が楽しみになった」などの感想が寄せられた。また、e-ラーニングでは高校レベルの国語、英語、数学を効率的に復習できる。成果をまとめた学習診断カルテも作成でき、入学後の指導にも活かしていく予定だ。

新入生セミナーのご案内

今年度も「新入生セミナー」を開催します。4月3日（水）から8日（月）までの期間中、江田島青少年交流の家での1泊2日の共同生活を体験し、カッター研修や運動会、レクリエーションなどを通して学生同士、また学生と教員との親睦を深めることが大きな目的です。特に、カッター研修や運動会での8人9脚競争、大縄跳びなど、仲間との協力が不可欠な競技に取り組むことで、規律や思いやりの心を育みます。仲間や先生と語り合い、積極的に交流の輪を広げてほしいものです。

免許状更新講習実施

講習の様子

今年度も教員免許更新制度に伴う「免許状更新講習」を開設し、平成24年8月20日、21日に必修領域「教育の最新事情」（定員40名）を、8月27日～29日に選択領域「商業教育の最新事情」（定員40名）を実施した。本学での講習も4年目となり学校関係者の認知度も高く、必修領域では申込者数が募集開始後間もなく定員に達し、選択領域でも過去最高の9名の申し込みがあった。長時間の講習にもかかわらず参加者は連日熱心に受講され、ワークショップ等の活動でも活発な意見交換があった。「最新の教育事情がよくわかった」「学校教育についてのタイムリーな内容であった」などの感想が寄せられ、実り多い講習となった。

教職課程の3年次生 授業観察実習に参加

4年次に予定される「教育実習」の事前指導（科目名「教育実習Ⅰ」）の一環として、教職課程の3年次生21名が平成24年11月5日に広島県立祇園北高等学校を、11月15日に広島市立祇園中学校を訪問した。両校の全面的なご協力を得て実施された今回の観察実習で、学生たちは大学の模擬授業などで直面している自らの課題解決のヒントを得ようと各教室での授業を熱心に参観していた。実際に自分が教壇に立つために身に着けておくべき、生徒がより興味を持つ教材や、発問・指示、個別指導の仕方などの点について、実際の授業実践の中で確認するとともに授業の流れや全体像を見ることのできる貴重な機会となった。

随想

「ものを作る喜びとビジネスの楽しさを伝えたい」

伊藤　則之

私が2年前にこの大学に教員として赴任するまで、富士通においてコンピュータ設計のためのプログラム開発を担当してきた。最後に携わったのは、理化学研究所と富士通が共同で開発したスーパーコンピュータ「京」を設計するためのプログラムである。このスーパーコンピュータは、冷蔵庫サイズの筐体（きょうたい）が864台相互に接続された大がかりなシステムである。1つの筐体の中には、約2センチ四方のプロセッサという頭脳に相当する部品が102個入っている。この約2センチ四方のプロセッサを設計するとき、設計者はコンピュータの画面を見ながら設計を行う。私は、この設計道具をプログラムで実現する仕事をしてきた。

約2センチ四方と小さいながらも、その中には情報を処理するための基本回路が約2億個も組み込まれている。技術者が少しでも楽に設計出来るように、道具に様々な工夫を凝らしながらプログラムとして実現してきた。こうして作った道具は、富士通の中でこのプロセッサの設計を行う技術者にしか使われない。広く世に出て多くの人々が使うプログラムではないため、非常に狭い世界で仕事をしてきたわけである。しかし、その道具を使って設計されたスーパーコンピュータは、今後私たちの身近な製品や薬など広い分野で間接的に貢献して行くだろうと密かに納得している。

コンピュータを設計・製造する現場では、高度な技術が生み出され、多くの人々が関わって仕事をしている。こうした現場をこの目で見て、その中で仕事をしたことは貴重な経験となった。コンピュータを設計する道具に不具合があると、それを使って設計したコンピュータが動かなくなってしまう。そのため、非常に厳しい緊張感の中で行う仕事であったが、出来上がったコンピュータが動作したときの喜びは格別に大きい。

本学では、私は企業での経験を活かして、コンピュータや情報処理に関連する教科や演習を担当している。ゼミの学生には、スマートフォンという小さなコンピュータの上で動くアプリの作り方からマーケットへの出し方までを実践的に教えている。ビジネス情報学科では、情報技術だけでなく、ビジネスについて学ぶことも重要である。アプリを自分で企画して作成し、それをマーケットに出し、どのくらい収入を得られるかという一連の実験を通して、ものを作る喜びとビジネスの楽しさを学生に伝えたい。もちろん、こうした一連の過程で、楽しさだけでなく、それぞれの厳しさも感じることであろう。その厳しさを乗り越えた先にある大きな喜びを是非見つけて欲しいと願っている。

（教授　コンピュータ基礎Ⅰ・Ⅱ、情報処理論Ⅰ、情報処理演習Bほか）

平成24年度学位記授与式挙行

式辞を述べる前川功一学長

3月19日、広島文化学園HBGホール（広島市中区）において、平成24年度学位記授与式が、厳粛に執り行われた。

平成24年度は経済学部839人（経済学科360人、経営学科292人、国際地域経済学科57人、ビジネス情報学科78人、メディアビジネス学科52人）が晴れて学士（経済学）に、大学院前期課程7人が修士（経済学）、1名が博士（経済学）となり、それぞれの学科及び大学院の代表が壇上に上がり、前川学長から学位記を受け取った。

それから教育職員免許状授与式も行われ免許状が授与された。続いて、学業に優れ、他学生の模範となった卒業生に学長賞が贈られた。また、経済学研究科博士課程後期課程修了者クスティアント・サティアワンさんに本学から8人目の博士号（経済学）の学位が授与された。学位を授与されたサティアワンさんは「私の専攻は経営学ですが、金融工学と計量経済学という知識を用いて研究を進めたため、より多く時間を費やして勉強し苦労しました。しかし、広島経済大学では幸運なことに、素晴らしい教授陣に恵まれ、常に辛抱強く指導頂きました」と喜びを語った。

式辞に立った前川学長は「日本復興の原動力は皆さん一人一人の力です。広島経済大学の卒業生としての自信と誇りを持って、着実に歩んでいってほしいと願っています」と、卒業生を激励した。

教職員をはじめ、ご列席いただいた多数の保護者が見守る中、卒業生は新たな門出の祝福を受け、式は緊張の中にも和やかな雰囲気のうちに終了した。

CIRCLE・INFO!

楽しい仲間とともに勝利へ

軟式野球部

「全員野球」をモットーに、部員全員が心をひとつにして日々の練習や試合に臨んでいます。練習は週1回ですが、一球、一振りに全力を注いでいます。部員全員が楽しみながら野球に取り組んでいるのも軟式野球部の魅力。軟式野球部には監督やコーチはいないため、運営は全て学生が行っています。練習メニューを考えたり、気づいたことは気軽に発言しあったりして互いに高め合える関係を築いています。また、自由な雰囲気のなかでも礼儀やマナーはしっかりと守り、仲間を思いやる気持ちを大切にしています。こうした環境づくりが、最高のチームワークの形成につながっています。

チームの目標は、春と秋に行われる広島地区リーグ戦を勝ち抜き、春は全日本学生軟式野球選手権大会、秋は西日本学生軟式野球選抜大会で優勝することです。2011年、2012年には、秋の広島地区リーグ戦で勝利を納め、西日本学生軟式野球選抜大会に出場することができました。次はもっと上をめざして、西日本で、全国で優勝したいと思っています。チームが強くなるために、今後は遠征試合をさらに増やして他府県の大学との試合をこなし、実戦力を磨いていく予定です。野球を楽しみたいという人は、ぜひチームの一員に加わってください。マネージャーも募集中です！

活動日・時間／月（15:00～20:00）・リーグ戦中は土、日試合
場所／野球場
活動内容／春季・秋季リーグ戦、全日本学生軟式野球選手権大会、西日本学生軟式野球選抜大会

サークルニュース

陸上競技部　中四国学生駅伝　4年ぶり12度目の優勝！

逆転し、優勝のテープをきる6区瀬戸選手

12月2日、山口市内で行われた第56回中四国学生駅伝競走大会において、陸上競技部が4年ぶり12度目の優勝を果たした。本学は1区丸山尚道選手（区間賞）の好発進で1位を死守。3区で一時はトップを譲ったが、最終6区の瀬戸浩二朗選手が力強い走りで逆転し見事1位（2時間46分40秒）でゴールした。平成24年5月に本学陸上競技部監督に就任して初の駅伝大会で優勝した尾方剛監督は、試合後「力通りに走れば勝てると思っていた。選手を信じていた」と優勝を喜んだ。今大会の優勝により今年10月出雲市で行われる出雲全日本大学選抜駅伝大会に推薦出場が決定した。陸上競技部の今後のさらなる活躍を期待する。

（出場選手）※学年は出場当時
1区　丸山 尚道（メディアビジネス学科1年・広島県／世羅高校出身）☆区間賞
2区　森　啓太（ビジネス情報学科4年・香川県／尽誠学園出身）☆区間賞
3区　上原 千弥（経営学科4年・広島県／広島国際学院高校出身）
4区　青山　翔（スポーツ経営学科1年・広島県／安西高校出身）☆区間賞
5区　伊永 亮太（経営学科3年・岡山県／岡山東商業高校出身）☆区間賞
6区　瀬戸浩二朗（経済学科3年・広島県／広島国際学院高校出身）

第46期 学友会役員

【会長】正木 博洋【副会長】澤 侑樹・岩本 貴之【財務部長】小原 基豊【書記部長】野田 悠矢【厚生部長兼献血推進委員長】豊川 竜也【情宣部長】梶田 大畿【渉外部長】久保 卓也【文化局長】林 英雄【体育局長】出穂 千晶【大学祭実行委員長】本山 大貴

私のゼミナール感　64

堀越　孝雄

「卒業論文に思う」

生化学系の大学院で博士論文を作成していた頃、ある教授から「研究者は、その後の研究生活を通して博士論文の研究を超えることはできない」と言われた。その時はその意味を理解することはできなかったが、現在、私は、一歩進んで「研究生活を通して卒業論文の研究を超えることはできない」と思っている。40数年前の己の卒業論文をひも解くと、つたないなりに懸命にテーマに対した時代がなつかしい。その後の研究は多少リファインされたかもしれないが、着眼や手法は結局卒論研究のくり返しだったとしみじみ思う。事情は、社会科学でも人文科学でも同様であろう。

4年生最初のゼミでは学生諸君に「学生時代は長い人類の歴史の中で構築されてきた知の体系を受身で学ぶだけであったが、卒業論文の作成は初歩的であるかもしれないが人生において、最初で人により最後の創造的活動であり記念碑的なものなので、心して取り組もう」と伝えた。

そのようなこともあり、平成24年度の卒業生には、3年生最初のゼミで全員〝手書き〟と宣言し、卒論題目と章立ての設定・報告・討論から張り切って出発したが、〝手書き〟は腰砕けになった。3年生後半と4年生前半は就活に重点をシフトしつつ、4年生後半からは本格的に本文の執筆に入り、2万字以上・引用参考資料の明示・体裁の統一等の共通ルールを徹底させるために12月末までには教員に提出と定めた。しかし、完成できなかった諸君もあり、平成25年1月末の提出期限直前は、土日返上、電話あるいは研究室での叱咤激励の日々で教師としても胃の痛くなる毎日だった。思わぬ収穫は、性格むき出しのつき合いの中で少し濃密な人間関係が構築できたことである。なんとか全員提出がかない、学生諸君ともども「やればできるじゃん」と感動を新たにした次第である。

（教授　生命の科学・生物の世界・環境の科学・演習Ⅱ担当）

硬式野球部監督に元広島東洋カープの山本翔氏が就任

山本 翔 新監督

2月14日、本学硬式野球部龍憲一監督の任期満了に伴い、新監督に、元広島東洋カープの山本翔（やまもと　しょう）氏が就任した。山本氏は東筑高校（福岡）出身。2002年、広島東洋カープにドラフト5位で捕手として入団した。

サッカー部監督に元サンフレッチェ広島の高橋真一郎氏が就任

高橋真一郎 新監督

2月1日、本学サッカー部桑田隆幸監督の任期満了に伴い、新監督にサンフレッチェ広島で選手・コーチとして活躍し、昨年まで東京ヴェルディで監督を務めた、高橋真一郎（たかはし　しんいちろう）氏が就任した。高橋氏は松永高校出身。大阪経済大学に進み、1980年に東洋工業（現マツダ）に入社、1987年には第67回天皇杯サッカー大会で準優勝した。1992年からはサンフレッチェ広島で活躍。現役引退後はサンフレッチェ広島のコーチや柏レイソルの監督などを歴任、昨年9月から12月まで東京ヴェルディの監督を務めた。

サークル戦績

○スケート部※学年は出場当時
▽第85回日本学生氷上競技選手権大会出場［フィギュア部門］坪田佳子（スポーツ経営学科2年・愛媛県／済美高校出身）
▽第68回国民体育大会冬季大会出場［フィギュア部門］坪田佳子（スポーツ経営学科2年・愛媛県／済美高校出身）

平成25年度 進路・就職支援プログラムスケジュール

平成25年4月1日現在

実施日		進路・就職支援プログラム
平成25年		
4月	2日(火)	自己発見レポートⅠ(1年)
	25日(木)	公務員ガイダンス(1～3年)
5月	2日(木)	自己発見レポートフォローガイダンス(1･2年)
	9日(木)	第1回就職ガイダンス(3年)
	14日(火)	4年次生就職ガイダンス(4年)
	16日(木)	第6回学内合同企業説明会(4年)
	18日(土)	公務員試験対策模試　(1～3年)
	23日(木)	第2回就職ガイダンス(3年)
6月	1日(土)	就職説明会(松山、福岡)(3年保護者) ※1・2年の保護者も可
	2日(日)	就職説明会(高松、山口)(3年保護者) ※1・2年の保護者も可
	6日(木)	就職情報サイト活用講座(3年)
	8日(土)	就職説明会(広島)(3年保護者) ※1・2年の保護者も可
	13日(木)	キャリアアプローチ(自己理解・適職診断)(3年)
	20日(木)	第7回学内合同企業説明会(4年)
	22日(土)	就職説明会(松江)(3年保護者) ※1・2年の保護者も可
	23日(日)	就職説明会(鳥取)(3年保護者) ※1・2年の保護者も可
	24日(月)	業界研究会(～7/5、全8回)(1～3年)
	27日(木)	第3回就職ガイダンス(3年)
	29日(土)	就職説明会(福山)(3年保護者) ※1・2年の保護者も可
	30日(日)	就職説明会(岡山)(3年保護者) ※1・2年の保護者も可
7月	4日(木)	新聞の読み方講座(日本経済新聞編)(1～3年)
	6日(土)	第1回SPI・一般常識模擬テスト(3年)
	11日(木)	第４回就職ガイダンス(3年)
	15日(月)	キャリアアプローチ カウンセリング(～7/22)(3年)
	18日(木)	Ｕターン就職ガイダンス(1～3年)
	18日(木)	留学生就職ガイダンス(1～3年)
	25日(木)	第8回学内合同企業説明会(4年)
8月	6日(火)	公務員ガイダンス(1～3年)
	7日(水)	夏期公務員試験対策講座 「公務員試験必勝ゼミ」(～8/10)(1～3年)
9月	26日(木)	第5回就職ガイダンス(3年)
10月	3日(木)	第6回就職ガイダンス(3年)
	7日(月)	第9回学内合同企業説明会(4年)
	8日(火)	第10回学内合同企業説明会(4年)
	9日(水)	第11回学内合同企業説明会(4年)
	10日(木)	3年次女子学生向け 就活メイク・マナー講座 「私が一番!!印象UPの就活メイク・マナー」(～10/11)(3年)
	15日(火)	卒業生による仕事研究セミナー(～10/31、全6回)(3年)
	16日(水)	わたしのしごと①(1･2年)
	23日(水)	第7回就職ガイダンス(3年)
11月	7日(木)	第8回就職ガイダンス(3年)
	9日(土)	第2回SPI･一般常識模擬テスト(3年)
	11日(月)	学内証明写真撮影会(～11/13)(3年)
	19日(火)	わたしのしごと②(1･2年)
	21日(木)	第9回就職ガイダンス(3年)
	23日(土)	面接･グループディスカッション対策講座(～11/24)(3年)
	28日(木)	公務員ガイダンス(1～3年)
	30日(土)	公務員試験対策模試(1～3年)
12月	2日(月)	企業研究セミナー(～12/20、全12回)(3年)
	2日(月)	就職情報サイト活用講座 グランドオープン(～12/6、全3回)(3年)
	16日(月)	わたしのしごと③(1･2年)
平成26年		
1月	16日(木)	第10回就職ガイダンス(3年)
2月	13日(木)	卒業生による就活セミナー(3年)
	14日(金)	面接･グループディスカッション対策講座②(3年)
	18日(火)	第1回学内合同企業説明会(3年)
	19日(水)	第2回学内合同企業説明会(3年)
	20日(木)	第3回学内合同企業説明会(3年)
	21日(金)	第4回学内合同企業説明会(3年)
	24日(月)	第5回学内合同企業説明会(3年)
	25日(火)	春期公務員試験対策合宿 「公務員試験必勝ゼミ」(～2/28)(1～3年)

上記スケジュールは、諸般の事情により変更する場合があります。

私の就職活動体験記

働くイメージを明確にし企業選択

就職先　株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

経済学科卒
山村　亮さん
兵庫県／龍野高校出身

自分の思いを伝えることができました。

就職活動の期間中に苦労したことは、野球部の活動との両立です。レギュラー選手に選ばれていたので、就職活動だからといって練習は休まないと決めていました。4月に東京で最終面接があったときにはリーグ戦が始まっていたため、面接を終えてすぐに広島に戻り、野球部の練習に参加しました。「野球の練習ではチームのことだけを考え、就職活動に取り組んでいるときは自分の将来のことだけをしっかり考えること」このように気持ちを切り替えて目の前の課題に着実に取り組んできたことが、採用試験でも評価されるポイントになったと思います。

3年次の10月頃から企業研究に取り組みました。まずは、さまざまな業界を説明した冊子「業界地図」などの資料で自分の知っている企業をリストアップし、その中から興味のある企業をより深く調べていきました。12月頃から企業説明会にも参加し、自己分析の結果を踏まえて「この企業なら、自分の長所をどのように活かせるか」を考えました。具体的にその企業でどう働いていけるかをイメージして採用試験に臨んだことで、面接でも落ち着いて

未来は自分で切り拓くものです。どんなに忙しくても、悩んでも、自分の信念があれば、きっと大丈夫です。これから就職活動に臨む後輩たちにも、自分の信念を最後まで貫いてほしいと思います。その強い精神力を養い、支えてくれる環境が広島経済大学にはあると思います。

希望のUターン就職を実現

就職先　株式会社伊予銀行

経営学科卒
神野　恵さん
愛媛県／新居浜西高校出身

卒業後は地元・愛媛県で働きたいと思い、愛媛県の企業を中心に企業研究に取り組みました。大学で開催されるガイダンスにはこまめに出席し、12月頃から本格的に就職活動を開始。一番最初に採用試験を受けたのは1月です。グループワークに取り組むスタイルの試験でしたが、初めて会う人たちのなかでどのように自分をアピールすればいいか悩み、とても緊張したのを覚えています。キャリアセンターのサポートで役立ったのは、エントリーシートや履歴書の添削です。初めは自己アピールも全くまとまらず、一枚を書き上げるのにとても時間がかかりました。何度もアドバイスをもらって書き直し、自分の熱意が読み手に伝わるように書くことを心がけました。

就職期間中は広島と愛媛を何度も往復しなければならなかったため、勉強と部活動、就職活動の書類作成や筆記試験の勉強などに追われる毎日でした。交通費のほかにもスーツ代など、就職活動にはお金もかかるので、親に負担をかけないようにアルバイトにも取り組みました。とても忙しい日々ではありましたが、それでも最後まで頑張れたのは、支えてくれた部活の後輩たちやキャリアセンター職員のアドバイスがあったからだと思います。4月からは、地元・愛媛県の銀行で働きます。愛媛の人々や企業に信頼される銀行員をめざし、地元経済の活性化に貢献していきたいと思っています。

インターンシップで進路が見えた

就職先　大和ハウス工業株式会社

国際地域経済学科卒
難波　雅人さん
愛媛県／川之江高校出身

2年次に建設会社でのインターンシップを経験し、将来の仕事として憧れを持つようになりました。学内で開催された会社説明会や合同説明会に参加したほか、インターネットで登録していた就職情報サイトが主催する合同説明会などにも積極的に参加しました。たくさんの企業に話を聞いたことで、自分がなりたいと思う将来の社会人像や理想の働き方を実現できる企業に出会うことができました。

採用試験で印象に残っているのはグループディスカッションです。「店舗出店の立地条件を考えて、その理由を述べなさい」という題目について、グループで話し合いました。店舗の建設に関わる建設会社、店舗の経営者、店舗を利用するお客様など、さまざまな視点から経営と立地条件について考える取り組みは実際の仕事にも活かせるものだと思いました。就職活動中、最も気をつけたのは時間をしっかり守ることです。就職活動では書類提出の締切期限や採用試験の開始時間など、時間厳守が鉄則です。就職活動を通じて、時間を守ることが信頼関係を築く上でとても重要だということを改めて学びました。

また、就職活動を楽しむために工夫したことは服装です。ネクタイは、明るいピンク色、さわやかな青色と水色、まじめな印象を与える紺色の4色を使い分け、人から見られた時の自分の印象を意識するようにしていました。これは、自分自身の気分転換にもなり、とても役立ちました。

後輩のみなさんにも、就職活動での出会いや学びを楽しみながら、自分の進路を切り拓いてほしいと思います。

就職活動に向けた準備が自信に

就職先　株式会社ライトオン

ビジネス情報学科卒
堀井　勇太さん
広島県／可部高校出身

2年次から業界・企業研究に取り組んでいました。興味のあるアパレル業界を中心に、関連する本を読んだり、大学のキャリアセンターが実施する業界研究会に積極的に参加したりしたほか、OB訪問をして現場の話を聞かせていただき、自分がイメージしていた業界や仕事の内容と実際の現場の仕事とのギャップを埋めていきました。2年次の秋にはアパレル業界をめざすことを心に決め、3年次の10月には志望する企業をほぼ絞り込んでいました。ただ、さまざまな企業の方からお話を伺える業界研究会は、自分の興味のない業界でもできるだけ参加するようにしていました。学生時代に出会える社会人は限られていますし、仕事について企業の方からじっくりとお話を伺える機会も貴重です。農林水産業界、IT業界、運輸業界など幅広い業界の情報を集めることができたおかげで、面接でも経済の話題に柔軟に対応することができました。

就職試験では、まず自分のめざす将来像を明確にすることが大切です。また、何かひとつでもいいので、誰にも負けない自信のあるものを持っておきましょう。就職活動では、多くの有名大学の学生と肩を並べることになります。そのときに大切なのが、自分に自信を持って熱意や将来のビジョンを表現できるコミュニケーション能力や、大学時代に全力で打ち込んだ経験です。後輩たちにも最後まで決してあきらめず、自分の夢を叶えてほしいと思います。

情熱が結果につながった

就職先　株式会社中国博報堂

メディアビジネス学科卒
川村　佳子さん
広島県／並木学院高校出身

大学入学時からメディアに関わる仕事への憧れがあり、テレビや雑誌、広告などを制作する仕事に就きたいと考えていました。自分にどんな業界が向いているのかを常に考えながら1、2年次を過ごし、早いうちから業界・企業研究にも取り組みました。志望企業が明確になったのは、3年次に企業インターンシップを経験したことがきっかけです。中国博報堂でのインターンシップを通して、新聞、雑誌、テレビ、インターネットなどあらゆる分野でのクリエイティブな仕事にやりがいを感じ、「この会社で働きたい！」と思うようになりました。

3年次の12月からすぐにエントリーを始め、1月から採用試験がスタート。苦労したことは、履歴書やエントリーシートの作成です。キャリアセンターに何度も足を運んで履歴書やエントリーシートを添削してもらいました。書類は全て手書きのため、時間をかけて丁寧に書いても最後のほうで書き間違えてしまったら、また最初から書き直さなければなりません。それでも、「ここで働きたい」という情熱をもって書類作成に取り組み、エントリーシートも無事に通過。面接では「大学生活で力を注いだこと」や「この会社でどのような仕事をしたいか」などを質問され、インターンシップでの経験や憧れの仕事への情熱を自信を持って伝えることができました。

私が夢を叶えることができたのは、早期から就職活動に向けて準備に取り組み、そのうえで、情熱をもってあきらめなかったからだと思います。後輩のみなさんにも、将来を見据えて大学生活を過ごしてほしいと思います。

平成24年度 主な就職先一覧 （順不同）

建設業
大和ハウス工業㈱、セキスイハイム中四国㈱、セキスイハイム近畿㈱、㈱河崎組、東亜ハウス㈱、㈱一条工務店広島、ミサワホーム中国㈱、㈱カシワバラ・コーポレーション、島根電工㈱、㈱立芝、㈱九動

製造業
㈱長府製作所、㈱サタケ、㈱川本製作所、㈱サンポール、㈱ウッドワン、ドリームベッド㈱、福留ハム㈱、チチヤス㈱、㈱和田珍味、㈱八天堂、㈱にしき堂、サンヨー食品㈱、堂本食品㈱、㈱あじかん、広島駅弁当㈱、デリカウイング㈱、㈱ミキハウス、クロダルマ㈱、㈱インデップ、㈱ジーベック、四国段ボール㈱、㈱富士薬品、㈱高瀬ユニード、㈱多田製作所、㈱田窪工業所、㈱シブヤ、㈱愛歯、大和冷機工業㈱、㈱KOUZIRO、東プレ㈱

情報通信業
㈱中国博報堂、㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモ、アンデックス㈱、㈱ハローネット、ドコモサービス中国㈱、㈱パイオン、㈱エヌ・ティ・ティマーケティングアクト、ハイテクシステム㈱、㈱NTTデータ中国、トランスコスモス㈱、㈱ケーシーエス

運輸業、郵便業
日本通運㈱、マロックス㈱、㈱ロジコム、岡山県貨物運送㈱、池田興業㈱、双葉運輸㈱、エフピコ物流㈱、㈱中四国丸和ロジスティクス、㈱丸和運輸機関、福岡運輸㈱、福山通運㈱、㈱引越社関西、アトム運輸㈱、西日本日立物流サービス㈱、協和冷蔵㈱、㈱サカイ引越センター、吉南産業㈱

卸売業、小売業
㈱広島三越、㈱ファミリーマート、コカ・コーラウエスト㈱、㈱ジュンテンドー、ダイキ㈱、㈱ナフコ、㈱コメリ、共和医理器㈱、㈱エバルス、㈱セイエル、㈱サンキ、成和産業㈱、㈱クラハシ、㈱外林、近畿中四国ペプシコーラ販売㈱、㈱やまひろ、㈱西原商会、㈱ニシムラ、㈱トーホーグループ、アクト中食㈱、南商事㈱、㈱住吉、㈱クラタクリエイト、㈱中島商会、浅野産業㈱、高山石油ガス㈱、㈱ミヤジ、㈱中国クボタ、キャタピラーウエストジャパン㈱、ヤチヨコアシステム㈱、㈱パロマ、旭日産業㈱、大田鋼管㈱、三親電材㈱、東中国スズキ自動車㈱、ダンロップタイヤ中国㈱、㈱田宮パーツ、㈱デンソーセールス　中国支社、ブリヂストンリテールジャパン㈱、日立コンシューマ・マーケティング㈱、シンセイ㈱、丸井産業㈱、㈱三笠・鈑螺、フィールズ㈱、広印青果㈱、㈱仙台銘板、大黒天物産㈱、㈱丸久、㈱フレスタ、㈱ユアーズ、㈱藤三、㈱ジーンズ・カジュアルダン、はるやま商事㈱、青山商事㈱、㈱ライトオン、㈱シティーヒル、㈱クロスカンパニー、㈱ハミルトン、㈱アクセ、ダイレックス㈱、㈱イズミ、㈱エブリイ、㈱ハローズ、マックスバリュ西日本㈱、㈱モーツアルト、タイヘイ㈱、㈱ポプラ、㈱ビバックス、いずみ自動車中国四国㈱、日産プリンス広島販売㈱、広島トヨペット㈱、㈱広島マツダ、広島トヨタ自動車㈱、ネッツトヨタ山口㈱、ネッツトヨタ中国㈱、トヨタカローラ広島㈱、山口マツダ㈱、㈱アンフィニ広島、広島スバル㈱、㈱スズキ自販広島、美作グループ、㈱コンクエスト、二村自動車㈱、㈱コスモス薬品、㈱ハーティウォンツ、㈱新日配薬品、セガミメディクス㈱、㈱ネクサス、㈱ヰセキ中国、伊藤忠エネクスホームライフ西日本㈱、四国ガス燃料㈱、イワタニ山陽㈱、広島ガス東部㈱、米子瓦斯㈱、㈱体育社、㈱ジャクエツ、㈱カメラのサエダ、メガネの田中チェーン㈱、㈱モバイルコム、㈱ケイ・ウノ、㈱ネクシィーズ、㈱えがお

金融業、保険業
㈱広島銀行、㈱伊予銀行、㈱ゆうちょ銀行、㈱愛媛銀行、㈱西京銀行、㈱トマト銀行、呉信用金庫、愛媛信用金庫、広島みどり信用金庫、東予信用金庫、宇和島信用金庫、広島県信用組合、広島市信用組合、信用組合広島商銀、中国労働金庫、日本生命保険(相)、第一生命保険㈱、県共済広島県火災共済協同組合広島県中小企業共済協同組合、全国共済農業協同組合連合会愛媛県本部

不動産業、物品賃貸業
イオンモール㈱、大東建託㈱、トータテ住宅販売㈱、住友不動産販売㈱、㈱良和ハウス、㈱不二ビルサービス、中国SC開発㈱、㈱リョーキ、太陽建機レンタル㈱、タイムズモビリティネットワークス㈱

学術研究、専門・技術サービス業
㈱ダイキエンジニアリング、㈱大進創寫館

宿泊業、飲食サービス業
㈱ホテルオークラ神戸、㈱呉阪急ホテル、東洋観光㈱、㈱メイプルシティ、ワタミフードサービス㈱、㈱ジョイフル、㈱サイゼリヤ、㈱あきんどスシロー、イズミ・フード・サービス㈱、㈱田部

生活関連サービス業、娯楽業
㈱サニクリーン広島、㈱広島県リースタオル、ユウベルグループ、㈱イオンファンタジー

教育、学習支援業
㈱アフィス

医療、福祉
特定医療法人 仁康会 小泉病院、社会福祉法人 信々会 特別養護老人ホーム 春日野園、医療法人 好縁会、湖山医療福祉グループ 医療法人社団ひがしの会、㈱京桃、湖山医療福祉グループ 医療法人社団 水澄み会、社会福祉法人 三篠会

複合サービス事業
郵便局㈱、広島市農業協同組合、呉農業協同組合、広島北部農業協同組合、山口東農業協同組合、庄原農業協同組合、あぶらんど萩農業協同組合、山口宇部農業協同組合、いずも農業協同組合、いわみ中央農業協同組合、佐伯中央農業協同組合、えひめ南農業協同組合

その他サービス業
光商工会議所、広島綜警サービス㈱、綜合警備保障㈱、㈱日警セフティ

公務
刑務官、防衛省　海上自衛隊、防衛省　陸上自衛隊、防衛省　航空自衛隊、大阪府警察、広島県警察、島根県警察、山口県警察、広島市消防局、東広島市消防局、府中町消防本部、江津邑智消防組合、岩国地区消防組合消防本部

BOOKS

◆広島経済大学経済研究論集　第35巻　第4号(2013年3月)

小林一広教授退任記念号

小林一広教授 写真･略歴･業績

小林一広先生のご退任によせて　片岡　幸雄(教　授)

【論　説】

文科系大学の情報科学教育における試みと考察　伊藤　則之(教　授)
日本における事業継続計画(BCP)の普及プロセス　岡田　斎(教　授)
文化適応における営業活動の役割 ―サントリーの二本箸作戦―　細井　謙一(教　授)
FASB概念フレームワークにおける利益観と資本の概念決定をめぐる問題　池村　恵一(准教授)
企業におけるスポーツ支援戦略に関して
―企業スポーツの脆弱性―　永田　靖(准教授)
1994年からWTO加盟までの中国の為替管理　広田　堅志(准教授)
農業･農村における社会的企業に関する既往関連研究の整理と課題　山本　公平(准教授)

【翻　訳】

中国商務部研究院対外貿易研究所･サービス貿易研究所課題研究チーム
「貿易発展方式の速やかな転換に向けての理論と具体策」　片岡　幸雄(教　授)
広田　堅志(准教授)

◆広島経済大学研究論集　第35巻　第4号 (2013年3月)

生塩睦子教授退任記念号

生塩睦子教授 写真･略歴･業績

献辞　生塩睦子先生の教育実践に学ぶ　武藤　清吾(教　授)

【論　説】

小学校国語科伝記教材としての「福沢諭吉」　幾田　伸司(鳴門教育大学大学院准教授)
村上春樹「かえるくん,東京を救う」における〈コミットメント〉の行方
―「雪かき仕事」と「バトンタッチ」―　中元さおり(広島大学大学院特任助教)
スポーツ･フォー･オールと福祉国家　内海　和雄(教　授)
地域防災プラットフォーム構想
―大災害時に地域のすべての人びとが力を合わせて生きぬくために―　松井　一洋(教　授)
大学の一般教養科目としての「日本文学」
―大人数授業の実践報告―　小川　俊輔(准教授)
照応形の束縛に基づいたかき混ぜの派生について　梶原　英二(准教授)
もうひとつの『秋海棠』―上海滬劇史の一断面―　三須　祐介(准教授)
台湾における慣習法の史的変容について
―「典」の外在的変容を主軸として―　宮畑加奈子(准教授)
学校における職業教育とキャリア教育に関する研究(I)　餅川　正雄(准教授)
ベルギーの言語紛争について ―持続可能な社会の形成過程―　和田　文雄(非常勤講師)

【研究ノート】

Comparing Japanese and English Dialogues in *My Neighbor Totoro*　迫田奈美子(准教授)
校内授業研究の改善に関する考察　胤森　裕暢(准教授)
デジタルストーリーテリングのグローカル展開
―転換的･共創的に広がる市民メディア実践―　土屋　祐子(准教授)

【翻　訳】

マイク･ハギンズ「21世紀初頭におけるイングランドのスポーツ政策と
地域スポーツ ―変革,挑戦そして主要テーマ―」　松本　耕二(准教授)
岡安　功(准教授)
渡辺　泰弘(助　教)
内海　和雄(教　授)

【資　料】

「五種限定統制」移行期の旧制中学校「国語読本」総目次(3)　武藤　清吾(教　授)

【研究集会報告】

小説の時代の終焉 ―三巻本小説の衰退と三文文士の退場―　麻畠　徳子(助　教)

◆広島経済大学地域経済研究所報告書

「不確実かつ曖昧な環境下での2レベル計画モデルの提案と
進化計算に基づく解法の構築」(2012年12月)　丹羽　啓一(准教授)
久保　大支(助　教)

「FMハムスターによる地域コミュニケーションの変化と展望」
(2013年2月)　松井　一洋(教　授)
堂本　絵理(助　教)

学生の皆さんへ

「論集」の最新号は、1号館玄関･図書館･メディア情報センター等に置いていますので、ご自由にお持ちください。また、バックナンバーをご希望の方は、地域経済研究所まで来てください。

平成 25 年度 入学試験結果

■平成 25 年度 AO、推薦、一般、入試センター入学試験結果

入試制度	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(A)(人)	合格者数(B)(人)	競争率(A/B)(人)
AO 入学試験	20	27	27	6	4.5
推薦入学試験	360	821	820	753	1.1
一般入学試験(1 期)	280	1,030	997	455	2.2
一般入学試験(2 期)	55	318	276	115	2.4
入試センター入学試験(1 期)	105	676	676	489	1.4
入試センター入学試験(2 期)	30	73	73	47	1.6
計	850	2,945	2,869	1,865	1.5

平成25年度入学試験は志願者総数2945名(前年度対比+96名)で3パーセント増となった。また、一般入学試験及び入試センター入学試験においては、大学改革の一環でボーダーラインを高く設定したため、競争率が上がる結果となった。

人事

就任

〈平成25年4月1日付〉

◆理事・評議員

経済学部長
小谷　幸生(おだに　ゆきお)

◆評議員

入試・広報戦略室長
上重　五郎(うえしげ　ごろう)

新任

〈平成25年4月1日付〉

◆教育職

教授
藤谷　則夫(ふじたに　のりお)
担当科目　経済入門、地域経済論ほか

教授
一橋　信之(ひとつばし　のぶゆき)
担当科目　税法、経済入門、所得税法特論、法人税法特論ほか

教授
矢澤　利弘(やざわ　としひろ)
担当科目　会計学基礎、財務諸表論、簿記原理Ⅱほか

助教
天王寺谷　達将(てんのうじや　たつまさ)
担当科目　簿記原理Ⅰ、簿記原理Ⅲ、原価計算論基礎ほか

助教
重野　裕美(しげの　ひろみ)
担当科目　文章表現演習・標準、文章表現演習・基礎徹底、ことば学入門、音声表現演習ほか

昇任

〈平成25年4月1日付〉

◆教育職

【教授】餅川 正雄
博充・永田 靖【准教授】
柾本 伸悦

◆事務職

【部長】濱本 達文(総務部・管財担当)・柳川 和
【学部長】小谷 幸生【経済学科主任】福居 信幸【経営学科主任】細井 謙一【教養教育部主任】上田 みどり

◆事務組織役職

(※印は教員の兼務)
【部長・室長】濱本 達文(総務部・管財担当)・柳川 和優※(学務センター)・田中 泉※(教育・学習支援センター)・川村 健一※(キャリアセンター)・上重 五郎(入試・広報戦略室)・神田 義浩※(学生相談室長)

役職就任

〈平成25年4月1日付〉

◆事務職

【部長】濱本 達文(総務部・管財担当)
【教授】餅川 正雄
博充・永田 靖【准教授】
柾本 伸悦

◆教育職

学務センター学生課保健室
柴田　成美(しばた　なるみ)

◆事務職

異動

〈平成25年4月1日付〉

◆事務職

【総務部兼情報センター】
木村 邦彦(部長)

退任

〈平成25年3月31日付〉

◆評議員

佐々木 史忠・五百木 宏祐

退職

〈平成25年3月31日付〉

◆教育職

【教授】吉田 義宏【准教授】
広垣 光紀・小川 俊輔・杉田 武志・椌田 智子・山口 聖・栗原 武士・青木 孝次

◆事務職

【入試広報室長兼情報センター長】高田 義典【キャリアセンター長】五百木 宏祐【体育館長】佐々木 史忠【学務センター学生課保健室課長補佐】西田 幸栄【総務部総務課】栗栖 直美

機構改革

〈平成25年4月1日付〉
入試広報室を廃止し、入試・広報戦略室を設置する。入試・広報戦略室は入試課と広報課で構成。

2013 オープンキャンパス 開催のお知らせ

今年もオープンキャンパスを開催します。模擬授業や個別相談、施設見学など、見て、聞いて、体験できる楽しいプログラムを用意してお待ちしております！

6月16日(日)　7月27日(土)
7月28日(日)　8月25日(日)
11月　3日(祝)(ミニオープンキャンパス)
10：30～15：30 (予定)

中四国、県内遠方からは
無料送迎バスを運行します。

ひろしまフラワーフェスティバル 参加のお知らせ

5月3日(金)・4日(土)・5日(日)

今年もひろしまフラワーフェスティバルに参加します。場所は、平和公園前土谷病院近くです。“たんぽぽステージ”や“興動人ひろば”では、学生を中心としたさまざまな催し(ミュージックライブや長束太鼓、ダンスやインドネシア雑貨販売など)を用意し、皆様の来場をお待ちしております。ぜひお越しください！

保護者様向けメールマガジン配信中 (通称:HUE(ヒュー)メル)

本学では、広島経済大学の最新情報を月初めにメールマガジンで配信しております。ぜひ、ご登録のうえご覧いただき、広島経済大学および学生たちのことを知る一助にしていただければと思います。保護者のみなさまの多数のご登録をお待ちしております。

【配信内容】
・今月の行事
・先月の NEWS&TOPICS
・クラブ&サークル
・HUE 知っ得情報 など

【登録は広島経済大学ホームページから】

広島経済大学　検索　click!

本学図書館 所蔵書物紹介コーナー 知の系譜 No.30

プリニウス「博物誌」 1472 年 ヴェニス刊 ニコラ・ジャンセン印行

Plinius Secundus, Gaius 23-79 A.D.
Historia naturalis.
Venice: Nicolaus Jenson, 1472. 357 leaves ; 42cm

プリニウスは、古代ローマの軍人で博物学者。哲学、法律、修辞学、植物学などを学んだが、軍人として活躍した後、文筆活動に専念し、生涯に 102 冊の本を書いたといわれている。『博物誌』は、プリニウスの現存する唯一の著作であり、地理学、天文学、動植物や鉱物などあらゆる知識に関して記述されている。しかし、必ずしも自ら見聞し、検証した事柄だけを記述している訳ではなく、数多くの先行書が参照されているものの、ローマ最大の科学的著作として知られ、中世の百科事典的著作の主要な典拠となった。

プリニウスの『博物誌』は、15 世紀に活版印刷術が発明されると次々に印刷本が刊行された。1469 年に最初の印刷本がヴェニスで刊行され、1470 年にはローマでも刊行されている。館蔵書は、ローマン体活字の完成者と言われるニコラ・ジャンセンによってヴェニスで 1472 年に刊行されたものである。印刷本としては 3 番目にあたるが、先に刊行された 2 つの版に優る美しい印刷のため古くから賞賛されており、19 世紀末にイギリスで私家版印刷所を開設したW･モリスに影響を与えた。